

平成29年度苧田町社会福祉協議会事業報告書

重点事業の総括

支えあい活動を通じて地域づくりをすすめる生活支援体制整備事業では、第1層の協議体を設置し、「つながり隊」という愛称で活動を始めました。主に協議体についての理解や、協議体として取り組むべき地域課題を探る作業をすすめました。今後は協議体の参加者をより広く多様に求めながら、住民主体を質的に高める取り組みが重要となります。そして第2層としての協議体を小学校区単位に設置し、重層的な活動に展開していくこととしています。事業のキーマンとなる生活支援コーディネーターは、協議体の運営に中心的に関わりながら、他機関や他団体との連携に努めました。また、日常のさりげない近隣の支え合いを「地域のお宝」と評価して、それを大切に育むことが「本物の支え合う地域づくり」につながるとして、「お宝」の発掘、パンフ作りや発表会の開催などで啓発に努めました。

社会福祉法の改正により責務となった、社会福祉法人の地域における公益的取組の推進を企図して「苧田町社会福祉法人連絡会」を組織しました。全ての社会福祉法人の参加にはならず、4法人での発足となりましたが、初年度の活動として、今日的な課題である「子ども食堂」に先駆的に取組んでいるボランティアグループの活動支援から始めることができました。しかし、地域の課題や活動方法の共有、各法人の強みを組織的な活動にどう生かすのかなど、軌道に乗るにはまだ多くの協議と実践が必要です。

権利擁護の成年後見に関する取組では、司法・福祉多職種連絡会や成年後見関係機関連絡会を開き、他機関や専門職のネットワークを強化し、事例検討や情報交換などにより専門性の向上につなげました。今後は、成年後見制度利用促進に関する町の計画づくりに積極的に関わることが重要となります。

次期地域福祉計画と地域福祉活動計画の共同策定の取組や総合相談窓口体制の検討会に参画するなど、行政とのパートナーシップは強化されてきたと思われます。単なる行政からの補助・委託先の団体という関係でなく、地域福祉推進の中で確固たる存在となるためにはこれまで以上に、行政との共同の取組や事業の見える化・見せる化に努める必要があります。

在処よってけばあは、3人の常勤専任職員が同じような立場で責任を分担する形でスタートしましたが、業務を統括し進める点で少なからず支障が生じました。利用者減の現状もあり、体制を改め新年度に立て直しを図ることとなります。くすの木作業所は、経営的に非常に厳しい状況となっており、対応策の検討実施が急務となっております。くすの木作業所の菓子工房 LAPAN については、アドバイザーを迎え生産体制や販売方法の見直し、商品の開発などを進めてきました。スタッフの意識の変化を含め一定の成果は上がってきているものの、工賃のアップには未だつながっていません。

また財政面では社協会員の拡大に、入会の周知や広報方法の変更などで取り組んでみましたが、目立った成果は得られませんでした。しかし、寄付金の減少の現状からも財政基盤の強化は喫緊の課題であり、実のある取組が求められます。

1. コミュニティワークの推進

小地域福祉活動推進地区である集区と長畑区の見守りモデル地区指定が最終年となりました。このモデル地区での活動を通し、あえて見守りと言わずにご近所ですりげなく意識し合う関係作りや世代間交流・包括支援センターとの連携強化・気軽に立ち寄れる居場所作りの大切さがみえてきました。また、地域づくりセミナーや包括ケアシステムを知る学習会を開催することで、助け合いの意識作りの向上が図れました。

(1) 小地域福祉活動の推進

新規推進地区を2地区増やすことが出来ました。見守り会議に重点をおいていましたが職員体制が整わず多くの地区での実施はできませんでした。また各推進地区との懇談会や学習会を実施することで、地域の強みや課題・助け合いの形が見えてきました。

①見守り会議の実施状況

地域の中に孤立しがちな心配な人やちょっと気になる人がいないかの把握に努めました。

	地区名	実施日		地区名	実施日
1	小波瀬	平成29年4月16日	4	百合丘	平成30年2月22日
2	百合丘	平成29年9月7日			
3	桜ヶ丘	平成30年2月20日			

②推進委員証・福祉委員証の配布

訪問活動時等に活用してもらう事を目的に配布しました。

期日	地区数	推進委員・福祉委員数
平成29年度	35	734

③見守りネットワーク会議

期日	委員の参加	内容
5月29日	16	①事例紹介②事例紹介を受けての意見交換③荻田町消費者安全確保地域協議会について
2月6日	17	①事例紹介②事例紹介を受けての意見交換③今後の取り組みについて

④社協だよりにおいて各地区の取り組み紹介

各推進地区の取り組み情報を提供できるよう、毎月3地区ずつ掲載しています。

	掲載地区				掲載地区		
4月	葛川	百合ヶ丘	港	10月	与原上	白石	若久2
5月	岡崎	小波瀬	西町	11月	谷	城南	松山

6月	二崎	近衛ヶ丘	提	12月	浜町	集	法正寺
7月	片島	緑ヶ丘	長畑	1・2月 合併号	全35地区掲載		
8月	与原下	桜ヶ丘	中町				
9月	鋤崎	南原	上町	3月	幸町	尾倉	鋤崎

⑤未実施地区へのアプローチ（活動の理解推進）

下記地区へ活動実施をアプローチしてきました。開始までには至りませんでした。継続してアプローチしていきます。

平成28年度	雨窪区・本町・山口区・稲光
--------	---------------

⑥小地域福祉活動推進地区との懇談会

全推進地区に出向き、各地区の福祉問題の把握に努めました。

	期 日	地区名		期 日	地区名
1	1月12日（金）14：30～	馬場	18	2月10日（土）13：00～	南原
2	1月15日（月）11：00～	松原	19	2月11日（日）13：00～	法正寺
3	1月18日（金）13：00～	岡崎	20	2月13日（火）10：00～	二崎
4	1月22日（月）10：00～	城南	21	2月13日（火）13：00～	新津
5	1月23日（火）13：00～	桜ヶ丘	22	2月14日（水）10：00～	小波瀬
6	1月24日（水）15：00～	百合ヶ丘	23	2月14日（水）13：30～	今古賀
7	1月25日（木）10：00～	港	24	2月15日（木）13：30～	若久
8	1月28日（日）14：00～	谷	25	2月15日（木）15：00～	長畑
9	1月30日（木）9：30～	提	26	2月16日（金）11：00～	与原下
10	2月 1日（木）10：00～	尾倉	27	2月17日（土）10：00～	緑ヶ丘
11	2月 1日（木）13：30～	松山	28	2月18日（日）11：00～	鋤崎
12	2月 2日（金）11：00～	中町	29	2月20日（火）15：00～	集
13	2月 5日（月）13：00～	西町	30	2月21日（水）12：30～	白石
14	2月 5日（月）19：00～	片島	31	2月21日（水）14：30～	葛川
15	2月 6日（火）14：00～	与原上	32	2月22日（木）10：00～	猪熊
16	2月 7日（水）13：30～	上町	33	2月22日（木）11：00～	若久2
17	2月 7日（水）11：00～	幸町	34	2月22日（木）17：00～	浜町

⑦小地域福祉活動推進地区連絡会

各地区との懇談会で出された意見を元に、30年度の活動の考え方について説明しました。

期 日	場 所	地区数	内 容
3月 8日	中央公民館	33	30年度の活動の考え方・情報交換

(3) 福祉教育の推進

①地域づくりセミナー

毎年開催している地域福祉セミナーを、本年は苅田町協働のまちづくり課と共催し開催しました。

期日	場 所	参加者	内 容
6月10日	西日本工業大学 A棟 101 大講義室	160	講演会「災害と地域のつながり」 講師：宮城県岩沼市前市長井口明氏 パネルディスカッション パネラー：八女市防災課長石川幸一氏・南阿蘇村 社協興梶崇史氏・松本ほなみ氏・八幡西区塔野 まちづくり協議会原田照男氏

②福祉入門教室「地域支え合い助け合い研修会」

京築地区社協として、京築地区の住民を対象とするシンポジウムを開催しました。

1	平成 29 年 8 月 21 日 (月) ～8 月 23 日 (水)	夏休み子どもボランティア体 験講座	一般社団法人 九州防災パー トナーズ 代表理事 藤澤 健児 氏	15
2	平成 30 年 1 月 20 日 (土)	災害ボランティアセンター設 置運営訓練	一般社団法人 九州防災パー トナーズ 代表理事 藤澤 健児 氏	79
3	平成 30 年 2 月 10 日 (土)・3 月 10 日 (土)	災害復旧支援ボランティア養 成講座	一般社団法人 九州防災パー トナーズ 代表理事 藤澤 健児 氏	25

③認知症サポーター養成講座

認知症への理解を促進するため各地区で開催しました。

	期日	受講者	参加者
1	7月10日	緑ヶ丘区小地域福祉活動	29
2	7月12日	新津中学校3年生	157
3	9月10日	与原上区小地域福祉活動	83
4	10月4日	馬場小学校	47
5	10月5日	苅田小学校	94
6	1月20日	新津中学校1年生	98
7	3月13日	新津区小地域福祉活動	73
8	3月20日	すてきに火曜日サロン	37

(4) 障害者スポーツ大会の実施

障害者の社会参加促進や健康づくりを目的に行う

期日	場所	参加者	内容
11月11日	総合体育館	147	4つの競技・玉入れ等

(5) 障害者団体連絡会の活動支援

障害者団体連絡会で、当事者団体が内容を決めるように働きかけました。

	開催日	会議・行事名	内容
1	7月12日	連絡会①	年間活動計画づくり
2	9月6日	連絡会②	スポレク・要望書・懇談会
3	10月11日	連絡会③	要望書作成
4	11月21日	啓発活動	福祉大会にて広宣物の配布
5	11月22日	学習会①	避難所運営図上訓練
6	12月2日	啓発活動	人権講演会にて広宣物の配布
7	12月21日	連絡会④	学習会の打ち合わせ
8	1月28日	学習会	避難所運営実働訓練
9	2月8日	懇談会	行政との懇談会
10	2月25日	ココロンパーティー	障害の啓発目的の交流会

(6) SOS徘徊ネットワーク活動の推進

主管が苅田町役場に移り、民生委員児童委員へ連絡網での連絡及びSOSメール協力員へのメール配信を苅田町社協が担う事となりました。

移行による登録変更のため該当先を訪問し、必要に応じて小地域福祉活動や民生委員等につなぎました。

SOS登録者数	51名	メール協力員数	115名
---------	-----	---------	------

(7) 子育て支援の推進

項目	回数	参加者数	内容
子育てママ支援隊「にじいろ」	1 2回	延べ 8 0人	親子で外遊び(プレーパーク)他

(8) 障害者の趣味・余暇活動の促進

項目	回数	参加者数	内容
切手貼り絵サークル	2回	延べ 4人	切手貼り絵・ぬり絵
ふれあいウォーキング他	7回	延べ 5 0人	ウォーキング・缶拾い

(9) 介護家族支援元気回復事業「元気回復サロン」の実施

日頃の介護疲れを癒しリフレッシュする事を目的に開催しました。

月日	場所	参加数	行事内容
4月19日	北九州市	5名	日帰りリフレッシュ旅行
5月17日	パンジープラザ	9名	介護保険の学習会
6月21日	パンジープラザ	9名	脳トレ(コミュニケーション麻雀)
7月19日	北九州市	12名	福祉施設見学
8月23日	ミモザの会	14名	交流会
9月21日	北九州市	10名	日帰りリフレッシュ旅行
10月19日	パンジープラザ	9名	健康体操・セラピューティックケア
11月15日	赤村	10名	日帰り温泉旅行
12月20日	パンジープラザ	11名	クリスマス会
1月23日	パンジープラザ	11名	新年の集い
2月21日	北九州市	8名	日帰りリフレッシュ旅行
3月14日	パンジープラザ	10名	来年度計画について

(10) 有償サービスの仕組みと居場所づくりの研究と実施

有償サービスおたすけ“虹の会”活動がスムーズに行くように、学習会を行いました。

①学習会

日時	場所	内容
10月28日	パンジープラザ	悪徳商法について学習会

②有償サービス役員会議

毎月1回開催

有償サービス活動を円滑に進めるために課題を共有し、利用者状況報告やケース別活動報告をし、情報の共有をしてきました。

③成果と今後の課題

利用会員163名（20名増） 協力会員59名（5名増）が登録してくれ賛助会員62名に協力していただきました。

今年度は子育てをしている世帯へ子どもの世話と家事支援に入りました。今まで利用がなかった子育て世代の利用があり、今後は子育て世代へ虹の会のアピールを行っていきます。

（11）生活支援体制整備事業

①ベース会議

	開催日	場所	内容
1	4月25日	苅田町役場	29年次計画について
2	5月26日	苅田町役場	29年次計画について
3	6月27日	苅田町役場	第1層協議体1回目について
4	7月20日	苅田町役場	第1層協議体について
5	8月29日	苅田町役場	第1回協議体及び支え合いの地域づくりべんきょかい
6	9月14日	社協応接室	協議体に関するQ&A、第2回協議体について
7	10月20日	苅田町役場	第1層協議体2回目を終えて、第3回の内容
8	11月9日	苅田町役場	お宝探し研修会の報告、第2層の設定について
9	12月18日	苅田町役場	第3回報告と第4回の内容について
10	1月19日	苅田町役場	第4回の内容について、視察研修について
11	2月16日	苅田町役場	視察について・第5回に向けて

②お宝探しから始まる地域づくり研修会

	開催日	場所	人数	内容
1	8月31日	西部公民館	58	講演『つながる喜び・つなげる喜び～ホンモノの支え合いづくり5つのポイント』
	8月31日	小波瀬 コミュニティセンター	58	講師：ご近所福祉クリエイション主宰 ご近所福祉クリエイター 酒井保氏
	9月1日	パンジープラザ	25	グループワーク『地域活動からみたお宝・個人活動からみたお宝』
2	10月31日	パンジープラザ	58	講演『見つけたお宝を磨いてみよう～地域のお宝に意味づけをしてみると・・・』
	11月1日	西部公民館	58	講師：ご近所福祉クリエイション主宰 ご近所福祉クリエイター 酒井保氏
	11月1日	小波瀬コミュニティセンター	25	グループワーク『お宝に意味づけ』 ミニお宝発表会

3	2月23日	パンジープラザ	182	あなたの地域のお宝発表会（6事例発表） まどめのセッション『この苧田町でいつまでも安心して暮らすための地域づくりとは』 老い支度普及センター 老い支度クリエイター 石黒秀喜氏 ご近所福祉クリエイション主宰 ご近所福祉クリエイター 酒井保氏
---	-------	---------	-----	--

③支え合いの地域づくりべんきょうかい

開催日	場 所	人数	内 容
7月24日	パンジープラザ	116	これからの地域づくりについて ・役場より ・社協より 講演『これからの地域づくりについて』 講師：ご近所福祉クリエイション主宰 ご近所福祉クリエイター 酒井保さん 各班で話し合い・質疑応答

④第1層協議体（つながり隊）

	開催日	場 所	人数	内 容
1	7月20日	パンジープラザ	38	協議体の説明 さわやか福祉財団 グループワーク①自己紹介②地域について日頃感じていること③協議体についての感想や質問
2	10月13日	パンジープラザ	18	前回のふり返り・研修報告 ワールドカフェ『あなたが暮らしている地域の、いいところをあげてみましょう』
3	12月7日	パンジープラザ	19	前回のふり返り・協議体の愛称決め 報告『苧田町の要支援認定者の現状と課題』 話し合い『住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けるために、私たちに出来そうな事・関心のある事・あったらいいなと思う事を出し合おう』
4	1月31日	パンジープラザ	24	前回のふり返り・つながり隊の今後の進め方 私達の活動紹介（わすれな草・なの花・山桜の会・墨すり書道教室・輪になってをつなごう葛の里） グループワーク『買い物について』

⑤行政区ごとのアセスメントの実施

小地域福祉活動推進地区	35地区
-------------	------

⑥視察研修

開催日	場 所	人数	内 容
2月 6日	倉敷市健康福祉プラザ*	9名	倉敷市における地域包括ケアシステムの構築について 体制整備事業の進め方について

⑦冊子の作成

冊子『お宝探しで見つけた苺田町の支え合い』	1000部作成
-----------------------	---------

(12) 福祉に関する総合相談窓口設置検討会議への参画

	開催日	場所	内 容
1	6月15日	苺田町役場	総合相談窓口の概要・総合相談における現状と課題
2	7月15日	苺田町役場	先進地の事例・アンケートの集約結果
3	8月19日	社協会議室	苺田町総合相談システム(案)について
4	10月 7日	三原文化会館	苺田町総合相談システム(案)について
5	11月 4日	苺田町役場	新苺田町の総合相談システムについて
6	1月20日	三原文化会館	エリア・補助金・今後のスケジュールについて
7	2月24日	三原文化会館	総合相談システム・補助金について

(13) 九州北部豪雨災害における災害ボランティアセンター応援

7月11日	朝倉市災害ボランティアセンター	古賀
7月12日～15日	〃	福山
7月15日～18日	〃	古賀
7月18日～21日	〃	川原
7月27日～30日	〃	中野
7月29日	〃	古賀
8月5日～8日	東峰村災害ボランティアセンター	田中
8月8日	〃	中野
8月20日	朝倉市災害ボランティアセンター	中野
8月8日	〃	中野
8月26日	朝倉市災害ボランティアセンター(杷木サテライト)	福山

8月27日	朝倉市災害ボランティアセンター（杷木サテライト）	川原・田中
9月2日	朝倉市復旧支援ボランティアバス運行	中野
9月5日	朝倉市災害ボランティアセンター	中野
9月22日	〃	古賀
9月24日	朝倉市復旧支援ボランティアバス運行	古賀・中野

2. ボランティアセンター

ボランティアグループの活動が円滑に進むよう、活動支援に重点を置き、問題を把握するために積極的に関わりました。また、ボランティアの活動者不足の解消のために養成講座の開催やボランティアセンターの情報提供に力を入れました。

(1) ボランティアセンター活動のPR

社協だより「手をつなごう」やホームページ、社協事務室横のボードにチラシを掲示し、ボランティアの募集や講座のお知らせなど、情報を発信することを心がけました。

(2) ボランティアグループの活動

	グループ名	定例会		グループ名	定例会
1	苺田町ボランティア 連絡協議会	第1月曜 14:00～	14	託児ボランティア くれよん	第1月曜 10:00～
2	ハンディキャブ	第1火曜 13:00～	15	傾聴アイリス	第1水曜 13:00～
3	すみれ会（ボラ連）	第1金曜	16	かんだ健康隊	第4木曜 9:30～
4	苺田朗読会（ボラ連）	毎月2回	17	わすれな草の会	第2火曜 10:00～
5	苺田点訳会（ボラ連）	毎月2回	18	ハッピーハンド	第2月曜 15:00～
6	かんだ手話の会（ボラ連）	毎週金曜 昼10:00～ 夜19:30～	19	一木会	第1木曜 9:00～
7	スマイルクラブ（ボラ連）	第1水曜 10:00～	20	認知症予防グループ はなみずき	第1.3木曜 11:30～
8	手話サークル ひまわり	毎週木曜 10:00～	21	お手玉の会 し合わせ	随時
9	缶・カンクラブ	第4土曜 9:30～	22	子育てママ支援隊 「にじいろ」	毎月1回
10	たんぽぽ	第1火曜 10:00～	23	傾聴ボランティア「ほほえみ」	第4水曜 15:00～
11	チーム愛	第2火曜 13:30～	24	つむぐ。	随時
12	傾聴ボランティア らびっと	第3火曜 10:00～	25	花サロン	随時
13	かんだ防災士グループ	随時	26	ガイドの会	第3水曜 18:00～

小地域	件数						1					1	1	3
	人数						3					1	1	5
計	件数	5	6	9	8	9	14	11	14	7	7	7	4	101
	人数	18	16	40	33	60	61	40	41	23	24	21	11	388

(7) 福祉教育推進校活動の推進

福祉教育推進校の要望も踏まえながら、疑似体験やゲストティーチャー、福祉教育サポートボランティアと交流ができるような内容を検討しました。

学校名	学年	人数	実施月	内容
荻田工業 高校	全学 年	467名	10月	『ボランティア講座』講話 車いす陸上選手 小西 恵子さん
荻田中学校	1年	178名	11月	『防災学習を通して地域住民と異年齢交流』 ・近年の災害について ・防災クイズ ・段ボールベッドの作成
新津中学校	1年	131名	10月、1月	『高齢者について』 ・高齢者疑似体験 ・認知症サポーター養成講座
新津中学校	3年	157名	7月	『認知症サポーター養成講座』
荻田小学校	4年	95名	6月、10月	『視覚障がい』 ・視覚障がい者講話 ・アイマスク体験 『高齢者について』 ・認知症キッズサポーター養成講座 ・高齢者疑似体験
馬場小学校	4年	42名	9月	『車いす、視覚障がい、点字、聴覚障がい 認知症高齢者、』 ・車いす生活者講話 ・車いす体験 ・視覚障がい者講話 ・アイマスク体験 ・点字体験 ・聴覚障がい者講話 ・手話体験 ・認知症キッズサポーター養成講座
南原小学校	4年	63名	9月	『視覚障がい、車いす』

				<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がい者講話 ・アイマスク体験 ・車いす生活者講話 ・車いす体験
与原小学校	4年	116名	6月	『視覚障がい、車いす』 <ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がい者講話 ・アイマスク体験 ・車いす生活者講話 ・車いす体験
片島小学校	4年 5年	10名 9名	1月	『聴覚障がい、点字』 <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障がい者講話 ・手話体験 ・点字体験
白川小学校	4年	13名	10月～11月	『視覚障がい、車いす、ユニバーサルデザイン』 <ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がい者講話 ・アイマスク体験 ・車いす生活者講話 ・車いす体験 ・ユニバーサルデザインについて講話

(8) 福祉教育推進校研修会

福祉教育推進校活動の充実を図るため、研修や連絡会を実施しました。

事業名	内 容
福祉教育サポートボランティア連絡会	4月「福祉教育の新たな流れとは」 生き方のデザイン研究所 コーディネーター 大川智由さん 「福祉教育で私が伝えたい事」 生き方のデザイン研究所 生き方のデザイナー 新垣栄子さん 29年度の福祉教育について 8月 2学期の連絡事項 アイマスク体験における誘導、車いすの使い方
苧田町社会福祉大会	福祉教育推進校表彰
福祉教育推進校連絡会	3月19日 教育総務課、苧田町内8校出席 29年度活動報告、情報交換 30年度の福祉教育の取組みについて 事務手続きの説明 福祉教育プログラムについて

3. あんしんセンター活動

あんしんセンターでは、福祉職だけでなく必要があれば司法職とも連携を取り支援してまいりました。

(1) 日常生活自立支援事業の充実

契 約 者 数					援助回数	相談・問合わせ件数	
	認知症	知的障害	精神障害	その他			合 計
件数	3	5	1	2	11	248	19
解 約 者 数							
	認知症	知的障害	精神障害	その他	合計		
件数	2	0	0	0	2		

(2) 成年後見制度の利用支援

①関係機関からの成年後見制度の相談は増えています。

法人後見受任 10件

②荇田町司法・福祉多職種連絡会

出席者：弁護士、司法書士、社会福祉士、包括支援センター、社協職員

内 容：事例検討等

4月18日 15人、6月20日 17人、8月22日 15人、10月17日 12人

12月19日 14人、2月20日 14人

③成年後見関係機関連絡会

11月13日

出席者：福岡家庭裁判所行橋支部、古賀弁護士、久篠司法書士、地域福祉課、包括支援センター、社協職員

内 容：家庭裁判所の現状、成年後見の申立について等。

人 数：15人

④終活セミナー

8月29日

人数：51人

(3) 障害者相談支援事業

サービスを利用できない障害者の相談にも対応しました。

相談件数

	福祉サービス	医療・疾病	情緒安定	就労相談	その他	合計
件数	324	82	68	33	58	565

サービス利用計画作成 67件

(4) 福祉情報の提供

- ・社協だより「手をつなごう」の発行 毎月10日 年11回発行全世帯配布
- ・ホームページ、フェイスブックの更新

(5) 福祉に関する相談窓口の充実

項目	開設日	利用者数	相談援助件数
法律相談	12日	64人	64件
心配ごと相談	48日	16人	16件
身障心配ごと相談	12日	1人	1件
遺産・相続・多重債務相談	6日	10人	10件

4. 理事会、評議員会、委員会

(1) 理事会

期日	場所	人数	議題
5月22日	パンジープラザ 会議室	12名	平成28年度事業報告、決算、平成29年度補正予算（第1号）、役員選任候補者の推薦、役員並びに評議員等の報酬に関する規程の制定、就業規則等の全面改正、平成29年度定時評議員会の開催
6月7日	パンジープラザ 会議室	10名	会長・副会長の選定、会長専決規則の改正
9月21日	パンジープラザ 会議室	10名	くすの木作業所運営規程の改正
12月19日	味処 源さん	12名	旅費規程の改正と自家用車使用による公務旅行に関する制定
3月22日	パンジープラザ 会議室	11名	平成29年度収支補正予算（第2号）、平成30年度事業計画、収支予算、第2回評議員会の招集

(2) 評議員会

期日	場所	出席者	議題
6月6日	パンジープラザ 大研修室	17名	平成28年度事業報告、決算、平成29年度補正予算(第1号)、理事及び監査の選任、役員及び評議員等の報酬に関する規程の制定
3月29日	パンジープラザ 大研修室	14名	平成29年度収支補正予算(第2号)、平成30年度事業計画、収支予算

(3) 第5回菟田町社会福祉大会実行委員会

期日	場所	参加者	内容
4月22日	パンジープラザ	4名	検討事項 大会日時 大会の内容 予算 スケジュール
6月24日	パンジープラザ	3名	経過報告 検討事項 共催・後援・来賓 オープニング 表彰・発表 講演
8月26日	パンジープラザ	4名	後援について 来賓について 表彰について 福祉教育児童生徒作文表彰・発表について
10月28日	パンジープラザ	2名	経過報告 検討事項 当日の流れ 役割分担 レイアウト
月日	パンジープラザ	23名	リハーサル

第5回苧田町社会福祉大会

開催日 11月8日(火)

場所 パンジープラザ 集団健診指導室

参加人数 約197名

内容 1部 表彰式

2部 寸劇「水戸黄門」：小波瀬区小地域福祉活動

「キッチン用品演奏会」：長畑区有志・苧田町ボランティア連絡協議会

3部 講演「生きてさえいればいつか笑える日が来る」

講師 NPO法人抱樸「生笑一座」

(4) 財政基盤強化委員会

期日	場所	出席者	議題
6月9日	パンジープラザ	6名	報告 個人会員増大の取り組み 具体的な提案(区への還元について)
9月15日	パンジープラザ	7名	報告 法人・個人会員拡大の取り組み 具体的な提案(広報誌会員名掲載方法)
2月16日	パンジープラザ	7名	29年度組みのまとめ及び報告 法人会員拡大の取り組み 具体的な提案(企業訪問)(アピール資料集め)

(5) 地域福祉委員会

期日	場所	出席者	議題
11月24日	パンジープラザ 社協応接室	5名	・くすの木作業所LAPANアドバイザー契約について ・旅費規程の改正及び自家用車の公務使用に関する要綱について ・平成30年度事業構想(重点事業案)

5. 生活福祉資金など貸付事業

■生活福祉資金

種類	申請件数	申請金額	決定件数	決定金額
福祉資金	1件	100,000円	1件	100,000円
緊急小口資金	22件	1,885,000円	21件	1,785,000円
教育支援資金	4件	1,520,008円	4件	1,518,000円

計	27件	3,505,008円	26件	3,403,000円
---	-----	------------	-----	------------

■ 当会貸付

種類	件数	金額
緊急小口	1件	10,000円

■ 食糧支援

金銭での貸付を極力少なくして、食糧支援を実施しております。

38件 (1,000円～2,000円分)

6. 自主財源の確保

(1) 収益事業

自動販売機設置事業は例年並みでした。社協まごころ葬祭は昨年度を下回りました。

販売事業は昨年度並みでした。

(2) ふくしのまちづくり会員

実績は昨年度を例年並みでした。

(3) 赤い羽根共同募金運動

募金実績は昨年度を若干下回りました。

- ・戸別募金 3,884,550円
- ・法人、団体、個人 1,487,215円
- ・街頭募金 20,086円
- ・募金箱(含学校募金) 103,245円
- ・その他の募金 190,390円
- ・歳末助け合い 800,050円

(4) チャリティイベント

- ・チャリティカラオケ

10月8日 中央公民館 出場者98組

共同募金会へ 119,887円

7. 研修

社協活動の活性化のためには職員の資質の向上は必須のことであり、外部研修や組織内研修を実施しました。

(外部研修)

期 日	場 所	研 修 名	内 容	参加者
4月4日	嘉麻市	新地域支援勉強会	事業展開の好事例報告他	古賀・山本
4月19日	うきは市	生活支援コーディネーター連絡会	コーディネーター及び協議会の役割についての再確認他	古賀・山本

4月28日	春日市	共同募金新任者研修	共同募金会の取組について他	中野
5月15日	中津・別府市	民生委員一日研修	社会福祉法人太陽の家研修	古賀
5月16日 25日	春日市	施設役職員新任職員研修	期待される職員のマナー・接遇他	荒尾
5月24日	北九州市 戸畑区	居宅介護支援事業所集団指導	介護サービス運営基準等に関する条例他	増田・葛城
5/26. 6/6. 6/13. 6/19 . 6/24. 7/4. 8/19	福岡市	認知症介護実践者研修	認知症ケアの基本的視点と理念他	川内
6月7日 8日	福岡市早良区	相談支援従事者初任者研修	ケアマネジメント概論他	兼重
6月11日	春日市	支援者のための成年後見活用講座	成年後見制度の概要他	田中
6月13日 27日	春日市	施設職員研修基礎研修	福祉の職場で活かすセルフマネジメント他	平川
6月22日	春日市	生活福祉資金事務説明会	貸付制度の現状と課題	田中
7月14日	三原文化 会館	介護職員研修会	認知所居ケアの第1歩他	尾形 中村
7月26日	ウイズ行 橋	多職種研修会	嚥下機能の低下を支える食支援他	立山 大山・西本
7月27日	春日市	ストレスマネジメント研修	部下も自分も守る管理職のストレスマネジメント	岩田
8月10日	福岡市博 多区	会長・常務理事・事務局長 研修会	九州北部豪雨災害支援について他	古賀
8月24日	春日市	労務管理研修	社会福祉法人の経営における労務管理他	岩田
8月24日	北九州市 戸畑区	相談支援従事者初任者研修	地域自立支援協議会の役割と活用他	兼重
8月24日 25日	春日市	認知症対応型サービス事業 者管理者研修	人権学習他	立山
8月28日	春日市	共同募金担当職員研修会	実践報告他	中野
9月13日	春日市	福祉サービス苦情解決従事 者研修会	福岡県運営適正化委員会における苦情受 付状況状況等について他	岩田
10月5日	北九州市	安全運転管理者講習会	講習他	林

9/8、10/6、1/26 216、3/2	春日市	地域福祉基礎研修	実践報告・演習他	中野・川 原・田中
10月18日	福津市	生活支援コーディネーター 連絡会	総合事業（B型サービス）について説明他	伊藤
10月18日	行橋市	技術向上研修	チームコミュニケーション他	中村
10月19日	田川市	県北ブロック職員研修会	利用者工賃をあげるために他	福田
10/19.11/14.21.28. 12/6.13.20	北九州市	主任介護支援専門員更新研 修	人権研修他	増田
11月3日	八代市	生活支援体制整備事業推進 セミナー	生活支援コーディネーターと協議体の役 割を紐解く他	古賀
11月8日	大野城市	感染症予防研修	冬に流行する感染症予防対策他	岩田
11月12日	春日市	支援者のための成年後見活 用講座	成年後見制度の概要他	兼重
11月16日 17日	竹田市	民生委員・児童委員研修	くらしサポートセンター久住りんどう視 察他	古賀
11月20日	飯塚市	生活支援コーディネーター 養成研修	生活支援コーディネーター及び協議体と は他	伊藤
11月18日 19日	福岡市	福祉職員キャリアパス対応 生涯研修課程	キャリアデザインとセルフマネジメント 他	西本
12月1日	飯塚市	生活支援コーディネーター 養成研修	アセスメントと支援の視点他	伊藤
12月2日	福岡市	介護支援専門員協会研究大 会	介護支援専門官からみた介護支援専門員 とは他	増田 川瀬
12月10日	北九州市	認知症対応向上研修会	認知症の医学的理解他	葛城
12月22日	福岡市	集団指導	障害者福祉サービス事業者等実施方針他	岩田
12月25日	春日市	日常生活自立支援事業生活 支援員実務者研修	精神障害を持つ人への生活支援について 他	田中

1月15日	福岡市	リハビリテーション講習会	高次脳機能障害にどう関わるか他	兼重
1月17日	嘉麻市	生活支援コーディネーター連絡会	コーディネーター同士でディスカッション他	伊藤
1月19日 31日、2月23日	春日市	ライフレスキュー事業サポーター養成研修	地域における公益的取組について他	田中
1月23日	春日市	会計セミナー	決算の留意点と社会福祉充実残額の算定について他	林 川原
2月3日	三原文化 会館	要介護者等への口腔管理研修会	嚥下の仕組み他	大山
2月6日	倉敷市	生活支援体制整備事業視察研修	倉敷市の地域包括ケアシステム構築に向けた取組他	林会長・福 山・古賀・ 伊藤
2月13日	北九州市	精神障害のある方と一緒に暮らせる社会を目指して	精神障害のある方の社会生活について他	兼重
2月13日	北九州市	居宅介護支援事業所の初任者向け実践力向上研修会	ケアマネジメントプロセスについて見直し そう他	葛城
2月27日	宮若市	地域担当職員研修会	私からあなたへ～先輩からのメッセージ ～他	福山 林
2月28日	福岡市	福祉サービス事業所等支援員研修	障がい者福祉サービスの歴史的変遷他	平川
3月15日 16日	福岡市	相談支援従事者専門コース別研修	発達障がいの概要他	兼重
3月19日	嘉麻市	みんなの力で地域を支え合うフォーラム	法人後見市民支援員の報告他	田中

(事務局職員内部研修)

期 日	内 容	担 当
5月30日	事例検討	森山
6月30日	生活支援体制整備事業	古賀
8月28日	事例検討	増田
9月27日	社会福祉法人の公益的取組	田中
10月30日	移動サロン	中野
11月27日	事例検討	川瀬

12月26日	事例検討	林
1月29日	福祉教育	川原
2月26日	介護保険制度改正	葛城
3月28日	事例検討	兼重

8. 多機能型事業所くすの木作業所

サービス種類 就労継続支援B型・生活介護

くすの木作業所利用者の工賃倍増を目指し、生産活動の核として菓子製造販売「ラパン」を27年12月より事業を開始し、2年が経過しました。商品の数も増え、販売場所も徐々に拡大しております。地域から愛されるお菓子作りに励んでいます。

また、26年4月よりくすの木作業所従たる事業所レストラン「夢の木」をオープン。29度、4年目を経過した。安全、安心、美味の料理を提供し地域の憩いの場所、交流の場所として多くのお客様にご利用して頂きました。

利用者の自治活動や地域との交流を大切にしていまいりました。今後も施設経営の安定化を目指して日々努力を重ねます。

(1) 生産活動

①工賃倍増生産活動

菓子製造販売事業

27年12月10日、焼菓子工房「LAPAN」をオープン。

店名LAPANはフランス語のウサギを意味する。

シフォンケーキ・マドレーヌ・クッキー・エンゼルケーキ・アップケーキ・アップルパイホールの製造販売をする。

毎月の売り上げ目標50万円とした。

今年度、商品アドバイザー「里山商会」による、指導のもと、販売を展開した。

地域納税「さとふる」と販売契約を結び、1口3000円のエンジェルケーキ箱詰めの販売を開始。

販売場所は、JA荻田・JA行橋・勝山・ASO荻田店・ASO行橋店・ルミエール荻田店・椎田店・煎・うらのや・小さなコンビニと販路を拡大する。

現在、地域へ販売活路の拡大に取り組む。

毎月第1日曜日、荻田えきらく大市に出店する。

また、毎月、期間限定、季節のロールケーキを販売。

エンジェルケーキ1000円・2000円・3000円パックの販売。

②工賃強化生産活動

レストラン事業

レストランのコンセプト

- ①落ち着いた、居心地のよい雰囲気
 - ②健康志向の家庭的な料理をリーズナブルな価格で提供
 - ③幼児期から高齢者まで安心して、利用のできるスペース
- ヤマト福祉財団「夢へのかけ橋」実践塾の指導のもと事業を行う。

工賃は、利用者に時給600円の工賃を支給した。

現在、1日3名の利用者がレストランにて従事する。

毎月、レストランメニュー会議を行い、先月の営業チェックと来月のプランを立てている。

3年後の目標として、8名の利用者がレストランにて従事する。

③基本的生産活動

各作業（割箸・手芸・名刺・部品加工）を班制度化し、割箸班・部品班・印刷班・手芸班 毎月の作業量、工賃収入ともに安定の兆しが見えます。

手芸班は「第11回くすの木作業所作品展」を実施することにより、技術が向上し、多種多様の作品を作ることが出来た。

近隣の作業所の出展協力もあり、この作品展を通して多くの地域の人々と交流することができた。今後定着化に向け日々作品作りに努力します。

荏田町より、「障害者の日」啓発物品製作依頼があり、手提げ袋を400枚を納めました。

印刷班は名刺カラー印刷・はがき印刷・封筒印刷の作業が技術向上し、これにより工賃収入も安定した。

4月は名刺印刷、11月末からは年賀ハガキ印刷が繁盛期でした。受注から納品までのスピードアップ化に努力した。また、名刺は役場職員を中心に地元企業の取引が安定した。12月の年賀ハガキ印刷は一定の顧客確保ができました。

お茶の販売を行い、町や団体より注文があり不定期ではあるが、実績を積み重ねています。（ペットボトル500mm 100円税込）

④ボーナス支給販売活動

夏・冬の年2回、ボーナスの財源を確保する為に夏と冬物品販売（カタログ販売）を行い、利用者にボーナスを支給しました。

(2) 職員の人材育成・資質の向上の取組み

きょうされん福岡支部職員学習交流会に参加

県北ブロック職員学習会

県社協主催研修会の参加 4回

施設内部職員研修を実施 2回
職員会議の実施

(3) 日常生活訓練

仲間の当番表を作成し、毎日仲間で協力し合い日中生活の役割をそれぞれの係が取り組んだ。

朝の会・帰りの会の司会と記録

昼食・お茶休憩時のお茶係と机拭き係とテレビ係

作業時の材料係

掃除のゴミ係・掃除機係・ホウキ係

施設宿泊研修（第17回仲間の旅行）熊本県阿蘇旅行の実施により家族から離れて、グループで宿泊する貴重な体験ができました。

年2回火災避難訓練を実施し、訓練をする事によりスムーズに避難をすることが出来、また防災意識もたかまった。

夕食と朝食の提供支援（一人暮らし利用者の支援）

(4) 利用者（仲間）の活動

仲間の自治会活動は「仲間の話し合い」を毎月第1月曜日に実施し定例化した。仲間の自治会活動を定期的に実施したことにより仲間の自治に関心を持つことできた。

「仲間の活動の日」毎1回を定例化し、仲間のバスハイク・買い物・カラオケ大会・忘年会等を行う。

地域の作業所と交流することで、様々な仕事の取り組み方を学ぶことができたまた、なかまの仕事に対する意欲を向上させることができた。

他団体との交流を持つことにより、活動の場が広がり外に出るチャンスを得ました。

「仲間の旅行実行委員会」を組織し、月2回委員会をする。委員の仲間は旅行の企画を担当して、熊本県阿蘇市に1泊2日の旅行を実施しました。

きょうされん活動

きょうされん福岡支部仲間部会の活動に仲間2名参加

仲間部会の役員会に県北ブロックの責任者として参加

仲間の学習会実行委員会に参加し、積極的に意見交換と交流をすることができました。（クローバープラザにて開催）

福岡支部仲間部会と福岡県の懇談会に参加し、県内の作業所の仲間たちとともに意見交換ができました。

県北ブロック仲間の活動

仲間の会議に参加（仲間の交流会実行委員会）

仲間の交流会に参加

第20回仲間のふうせんバレーボール大会出場（田川市体育館）

第25回仲間の交流会 新年会（スコーレ若宮）

毎月1回の県北ブロック職員会議に出席し、仲間の活動の連絡調整や地域の作業所の情報交換の場所として又職員の実践交流ができました。

(5) 地域交流活動

「第11回くすの木作業所作品展」を開催し、町民や近隣の方々と交流
(来場者約650名)

築城特別支援学校の見学や実習生を受け入れ

中等部の現場実習6月

高等部の現場実習6月・11月

町立中学の職場体験学習の生徒の受け入れを毎年行っている、

第17回地域交流もちつき大会を実施し、地域の皆さんと交流、お餅をたくさん食べ楽しい行事となりました。

地域での行事に参加し、地域の方にくすの木を知ってもらうことができました。

苅田町障害者スポーツレクリエーション大会の参加

ボランティア団体との交流(行事協力)

日産エルダークラブ 地域交流もちつき大会

日産車体九州労働組合 第11回作品展

苅田町文化協会 第11回作品展

(6) 利用者の健康管理

嘱託医師による健康相談 毎月第1木曜日

看護師による週1回のバイタルチェック

年2回春と秋の定期健診の実施

健康検査結果表の管理 結果による再検査の指導

利用者通院・服薬の記録

食後の歯磨きやうがいの実施

定期的に軽スポーツを実施 ふうせんバレーの練習

昼休みのウォーキング (希望者)

(7) 家族の会の活動

家族懇談会を年5回開催

家族交流会の開催

夏の家族交流会 食事会 レストラン夢の木にて

冬の家族交流会 新年会 くすの木

成人を祝う会 吉岡さん くすの木

親の学習会の実施

家族懇談会の中で障害者総合支援法の学習会やグループホームの学習会を行いました。

作業と販売の支援

作品展の喫茶コーナーのお手伝いをさせていただきました。

10. 認知症対応型通所介護 在処よってけばあ

認知症の利用者一人一人の尊厳を大切に、在宅支援と寄り添う介護を実践しています。重点項目である、家族支援では保険外利用や相談・助言で介護負担の軽減が来ています。地域交流では、在処夏祭りや、中学校・高校の職場体験の受け入れなどで利用者と交流ができています。認知症サポーター養成講座を地域の生き生きサロンで開催、中学校の福祉学習などを通して認知症への理解につなげています。職員は、積極的に研修等に参加し、サービスの質の向上に努めています。関係機関と連絡・情報交換を密にし利用者さんにより良いサービスの提供ができています。

年間延べ利用者数 2106 人
月平均利用者数 176 人
一日平均利用者数 8.4 人

利用状況表

	生きがい	要 支 援 1	要 支 援 2	要 介 護 1	要 介 護 2	要 介 護 3	要 介 護 4	要 介 護 5	延 利 用 者 数	保 険 外 利 用 者 数	実 日 数	一 日 平 均 の 利 用 者 数	宿 泊 利 用 者 数	登 録 者 数
4月	0	11	27	52	70	38	36	0	234	15	25	9.4	0	24
5月	0	9	28	52	68	45	39	0	241	19	27	8.9	0	24
6月	0	8	27	45	4	38	25	0	188	17	26	8.8	1	24
7月	0	8	20	40	70	22	34	0	194	21	26	7.4	0	21
8月	0	5	2	66	75	25	27	0	200	13	27	7.4	0	21
9月	0	6	4	60	61	0	25	0	156	21	26	6.0	0	22
10月	0	8	5	59	69	10	17	0	172	8	26	5.8	1	19
11月	0	12	4	64	43	10	40	0	150	17	26	5.7	0	19
12月	0	8	8	63	38	10	22	0	149	8	26	5.7	1	19
1月	0	7	8	50	40	10	20	0	135	9	24	5.6	0	19
2月	0	8	6	51	49	9	16	5	144	2	24	6	1	18
3月	0	8	5	59	39	10	17	4	143	8	27	5.3	0	17
計	0	98	144	601	805	227	318	9	2106	158	310	8.4	16	247

10. ケアプランサービス

介護を必要とする状態になっても自立した在宅生活を送り、人生の最後まで人間として尊厳を全うできるような社会支援の仕組みの確立を目指しました。介護支援サービス機能を担う介護支援専

門員は制度運用の要として極めて重要な役割を担っています。適性かつ効果的な介護サービスを提供していく為に介護支援専門員の資質向上を目指しました。

(1) 地域への広報活動・介護保険の理解促進に努めました。

① 地域サロンでの業務内容・事業所の特徴説明を行いました。

地域サロンへ出向き地域住民への介護保険制度・居宅介護支援事業所の役割の周知に努めました。

② 社協内各担当者との連携を図りました。

事業所内他職員と連携を図り、地域のニーズを把握し必要に応じた支援を行いました。

③ 社協広報紙手をつなごうへ記事を掲載しました。

社協広報紙へ記事を掲載し事業所の周知を図りました。

④ 介護保険申請援助を行いました。

地域に暮らす要援護者の情報を収集し、介護保険申請などの支援を行いました。

(2) 自立支援を目標に適切なケアプランの作成に努めました。

① 利用者の有する能力を活かせる援助

本人 家族の希望を聴視し、アセスメントに基づき専門的な立場からアドバイスをを行い、自立支援に向けた援助を行いました。

② 多様な事業所との連携

フォーマル・インフォーマルサービスを問わず多様なサービスを活用し、連携を図り総合的・効果的なサービス提供が行えるように努めました。

③ 公平中立な立場の確保

公平中立な立場でアドバイスをを行いました。

(3) 特定事業所加算算定事業所としての役割の遂行

① 質の高いケアマネジメントの実施

ケアマネジャーの資質向上に努め質の高いケアマネジメント実践を図りました。

② 地域の介護支援専門員に対するスーパーバイズ機能の強化

主任介護支援専門員間の連携を図り、地域の介護支援専門員の抱える課題・地域課題に対しバイザー的機能を果たせるよう努めました。

③ 居宅介護支援事業所のネットワーク構築

苜田町介護支援専門員連絡会に参加し、他事業所介護支援専門員との連携を図りました。

苜田町主任ケアマネ会議へ参加し、情報共有を図りました。

(4) 職員の資質向上を図りました。

① 研修会参加

外部研修の情報収集に努め、積極的に研修会に参加しました。

社協主催研修会（認知症学習会・福祉教育等）に参加しました。

人権擁護に関する学習会に参加しました。

京築社会福祉協議会連絡会にて、介護支援専門員の定期的な学習会に参加しました。

② 事例検討会開催

自主研修会にて事例検討を実施しました。

(5) ケアマネジメントにおいて多職種協働・各関係機関との連携を強化しました。

① 地域ケア会議への参加

地域ケア会議へ積極的に参加し、専門職からの視点を参考に様々な社会資源を活用し在宅生活を支援しました。

② 様々な社会資源の活用

地域住民による活動・ボランティアなどの情報を収集し連携を図りました。

③ 生活支援コーディネーターとの連携・利用者のニーズ把握・社会資源開発への協力を努めました。

専門職の立場から、地域住民のニーズ把握・不足している社会資源の状況把握に努めました。行政と情報共有を図り、住民の支え合いの仕組みづくり・地域づくりの実現に貢献しました。生活支援コーディネーターと連携を図り、地域課題の把握・不足している社会資源の開発に努めました。

④ 包括支援センターとの連携

多くの課題をかかえる家族および虐待が疑われる事例など包括支援センターと連携を図り支援して行きました。

ケース会議へ参加し、情報共有を図り適切な支援が行えるよう努めました。